



未来を
つむぐ。
Spin the future.

林業

宮城県職員募集2023

林業職の業務紹介

◆ 概要

県産材の利用拡大、林業・木材産業の振興、森林の整備・保全に関する業務、木材や特用林産物、森林管理技術、優良種苗の安定確保など試験研究のほか、環境緑化等の業務を行います。

◆ 勤務先

本庁：林業振興課、森林整備課、自然保護課 等
地方機関：各地方振興事務所、林業技術総合センター 等

自己紹介

- ◆ 出身：宮城県
- ◆ H29.3 柴田農林高等学校 卒業
- ◆ H29.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁7年目）

H29.4～ 仙台地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

特用林産物の普及・生産指導や林業労働力担い手育成確保に関すること

R2.4～ 気仙沼地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

森林整備事業や森林計画業務・森林病虫害防除事業に関すること

R5.4～ 水産林政部 林業振興課 林業基盤整備班

林業担い手育成確保業務や林道事業に関すること

自己紹介

- ◆ 出身：青森県
- ◆ H29.3 県外高校卒業
- ◆ H29.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁7年目）

H29.4～ 北部地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

県所管の山林に係る許認可事務、病害虫の防除事務 等

R2.4～ 気仙沼地方振興事務所 林業振興部 森林管理班

県所管の山林及び森林法（保安林）に係る許認可事務 等

R5.4～ 水産林政部 森林整備課 県有林班

県所管の山林に係る許認可事務、土地の取得処分 等

なぜ公務員？

- 自分の持っている知識を生かしつつ多くの人の役に立てる仕事だと思い公務員を選択しました。
- 学生時代に学んだ内容を生かせる仕事は何かと考えた際、幅広く活躍することができる公務員を選択しました。

なぜ宮城県庁？

- 林業に興味があり、地元宮城県の林業を盛り上げる仕事に携わりたいと考え、宮城県庁を選択しました。
- 宮城県は経済、交通、物流等の様々な分野において、東北の中心的存在であり、情報などの収集や発信をするなら宮城県が良いのではないかと考え、宮城県庁を選択しました。

これまでに担当した業務の紹介

仙台地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

H29.4～R2.3 (3年間)

◆ 特用林産物の普及・生産指導や林業労働力確保に関すること

- ・特用林産物生産者に対する生産指導や販売会やイベント開催などの普及PR
- ・出荷制限解除のための生産者指導
- ・林業事業者への担い手確保育成支援

気仙沼地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

R2.4～R5.3 (3年間)

◆ 森林整備事業や森林計画業務・森林病虫害防除事業に関すること

- ・森林経営計画の作成指導
- ・森林整備を行う森林組合や林業事業者への指導
- ・害虫による森林への被害拡大防止

これまでに担当した業務の紹介

北部地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

H29.4～R2.3 (3年間)

- 県有林内への入林や伐採等に係る許認可
- 害虫による森林への被害拡大防止
- 児童等を対象とした森林教育の支援 など



気仙沼地方振興事務所 林業振興部 森林管理班

R2.4～R5.3 (3年間)

- 保安林の伐採等に係る許認可、指定・解除事務
- 県有林内への入林や伐採等に係る許認可
- 環境保全に伴う植樹活動の支援 など



R5.4～ 水産林政部 林業振興課 林業基盤整備班

◆ 林業担い手確保育成に係る業務

- ・ 林業事業者の指導、公表、登録
- ・ 就業環境向上などのための補助金の交付事務
- ・ 担い手確保育成関係の研修会など委託事務

◆ 林道事業に関する業務

- ・ 林道の点検整備、補修への補助金の交付事務
- ・ 災害発生時の対応

R5.4～ 水産林政部 森林整備課 県有林班

県有林の管理・経営

- 土地使用及び伐採に係る許認可、補償金調定
- 所有権の移転、地上権の設定や変更など
- 林産物の売払い
- 県有林内の保育
- 県有林の境界確認
- 団体による森づくり活動の支援



入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- ◆ デスクワーク等の事務作業が多そう。
- ◆ 林業学科出身者ばかりいそう。
- ◆ 外に出る機会がなさそう。

◆ 入庁してみたら・・・

- ◆ 対面や電話で、事業者や県民などと話す機会が多い。
- ◆ 現地調査や研修、イベントなどの対応で出張する機会が多い。
- ◆ 学生時代に林業以外のことを勉強していた職員もいる。
- ◆ 林業職の中でも、様々な担当業務がある。

仕事をする上で心がけていること

◆ 出来るだけ明るく、元気に受け答えすること。

仕事を進める上で、コミュニケーションは重要です。

◆ 仕事での悩みや疑問を抱え込まず、同僚や上司に相談したり、情報共有をこまめに行うこと。

抱え込んでしまった方が、後々、大変なことになります。

仕事は個人ではなく、チームプレーという環境が整っています。

◆ 特用林産物の普及PR業務



原木しいたけの出荷制限解除手続きを迅速に行ったことで、発生したしいたけを無駄にすることなく出荷することができ、生産者の皆さんからとても喜んでいただけたことや、原木しいたけの植菌体験をイベントで実施した際に、老若男女問わず参加いただいた方々に喜んでもらえたことが印象に残っています。

◆ 森林教育及び植樹イベントの支援

地元の小学生を始め、県内外より参加した方々に対し、森林の役割や魅力を説明するほか、植樹作業のサポート等を行い、イベント終了後、参加者から「とても楽しかった」、「また参加したい」などと多くの好評をもらい、とても嬉しかったです。

仕事のやりがい

林業職では、林業・木材産業の振興、森林管理に係る許認可等を行うソフト部門の業務と治山事業などの森林保全、林道の整備を担当するハード部門に分かれています。また、試験研究機関においても業務を行っており、多種多様な業務があります。

県内の市町村、企業、地域住民の方と密接に関わる機会が数多くあり、携わった方々から感謝の言葉をいただいたときは、とてもやりがいを感じます。

- ◆本庁や事務所の勤務でも、所属内に林業職の職員が多いため、困ったことや分からないことなど、気軽に相談することができます。
- ◆会話が多く、明るい雰囲気の職場が多いと思います。

宮城県職員の魅力

業務のフィールドが幅広く、県内の市町村、企業、地域住民に対応する業務があるほか、国に対しても仕事で直接関わる場面が多く、様々な方面で実力を発揮できます。

私の公務員試験対策

- ◆ 専門試験では、森林科学の教科書を繰り返し復習したほか、林野庁で発行している森林・林業白書などを読むことで、近年の森林・林業情勢についても勉強しました。
(白書は、林野庁のホームページで公開されています)
- ◆ 教養試験では、過去数年分（国や他県含む）の問題を解き、不明なところは先生に確認するなどして、試験に臨みました。
- ◆ 面接対策は、担任や生徒指導の先生にお願いし、本番に臨みました。

先輩職員からのメッセージ

- ◆ 林業職は、森林の造成を始め、木材や特用林産物、治山工事、野生鳥獣など、自然に対し幅広く携わるができ、とても魅力的で、且つやりがいのある仕事です。
- ◆ 宮城県職員として、皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています！